

当院で急性リンパ性白血病と診断され治療を受けられた 患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対する ご協力のお願い

研究責任者	所属 血液・腫瘍内科 職名 科長 氏名 長谷川 大一郎 連絡先電話番号 078-945-7300
実務責任者	所属 血液・腫瘍内科 職名 医長 氏名 植村 優 連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記の治療のために入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上記実務責任者（植村優）までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2004 年 1 月 1 日より 2025 年 12 月 31 日までの間に、兵庫県立こども病院にて急性リンパ性白血病と診断され、治療を受けた患者さん

2 研究課題名

診断から治療開始までの期間（Diagnosis-to-Treatment Interval）が小児急性リンパ性白血病の予後に及ぼす影響

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科

4 本研究の意義、目的、方法

小児急性リンパ性白血病では、診断後、速やかに治療を開始することが一般的です。一方、実際の診療では、白血病の種類やリスクを正確に診断するための検査、感染症や臓器障害への対応、腫瘍崩壊症候群の予防、中心静脈カテーテル留置などの治療準備に数日を要することがあります。

診断から治療開始までの期間は、Diagnosis-to-Treatment Interval (DTI) と呼ばれます。しかし、数日間の DTI が小児急性リンパ性白血病の治療成績に影響するかどうかは、十分に明らかになっていません。本研究では、初回の診断目的の骨髄検査から抗白血病治療を開始するまでの日数と、治療反応、再発および生存との関連を調べます。また、診断時の病状や骨髄検査を実施した曜日などが治療開始時期に及ぼす影響についても検討します。本研究により、診断や治療準備に必要な時間と治療成績との関係が明らかになれば、小児急性リンパ性白血病の患者さんに対して、安全かつ適切に診断と治療準備を進めるための診療体制の改善に役立つ可能性があります。

5 協力をお願いする内容

対象となる方の診療録（カルテ）を閲覧させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究承認日～2027 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

実務責任者

兵庫県立こども病院

血液・腫瘍内科 医長 植村 優

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6番7号

電話：078-945-7300（病院代表）

以上